

静岡県月例経済報告

(令和7年9月号)

……令和7年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 593

日本最大級! 約**120**社がふじさんめっせに集結!!

ふじのくにセルロース 循環経済国際展示会

植物由来で環境に優しいセルロース素材を活用した製品が
一堂に会する日本最大級の展示会を開催します。

開催期間

2025年 **10月16日** 木 13:00~16:00
10月17日 金 9:00~15:00

会場

ふじさんめっせ 大展示場
(静岡県富士市柳島189-8)

参加
無料

事前登録制

こちらのフォームから
ご登録をお願いします



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和7年7月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、弱い動きとなっている。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額（7月）は、百貨店が3か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが9か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（7月）は、コンビニエンスストアが5か月連続、ドラッグストアが51か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店が9か月ぶり、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総額でも43か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車（新車）新規登録台数（7月）は、乗用車が2か月ぶり、軽自動車が7か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも7か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数（7月）は、貸家が2か月ぶり、持家が4か月連続で前年実績を下回ったものの、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも6か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額（7月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（6月調査）の令和7年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（7月）は、6か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（7月）は、原動機が2か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車の部分品が3か月ぶり、二輪自動車類が6か月ぶり、エアコンが2か月連続、自動車が7か月連続、科学光学機器が12か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも7か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（7月）は、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも2か月ぶり、木材が3か月ぶり、パルプ、原動機がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、951億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数（7月）は、電気機械が11か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、輸送機械が12か月連続、化学が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を下回った。なお、前月比は2か月連続で減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では8か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率（7月）は1.05倍となり、前月を0.02ポイント下回った。54か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.17ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、3か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比 1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比 2.8%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（7月）は、件数は20件（前年同月比 23.1%減）と前年実績を下回り、負債総額は3,548百万円（同 58.0%減）と前年実績を下回った。

静岡県は

パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ 構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R7. 8. 31時点)

全国
6位

県内

3,906社

全国

77,475社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加算措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ
静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensai/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら
(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



日本最大級! 約**120**社がふじさんめっせに集結!!

ふじのくにセルロース 循環経済国際展示会

植物由来で環境に優しいセルロース素材を活用した製品が
一堂に会する日本最大級の展示会を開催します。

開催期間

2025年 **10月16日** 木 13:00~16:00
10月17日 金 9:00~15:00

会場

ふじさんめっせ 大展示場
(静岡県富士市柳島189-8)

**参加
無料**

事前登録制

こちらのフォームから
ご登録をお願いします



開催内容

1 企業・団体ブース (128社・団体)

2 植物素材を活用した陸・海・空のモビリティ展示



コンセプトカーしずおかもくまる
[静岡県・静岡大学・トヨタ車体株]



マリンジェット
[ヤマハ発動機株]



ドローン

3 大阪・関西万博の大人気コーナーを再現! セルロースの機能性体験コーナー

4 企業プレゼンテーション (36社・団体)

5 個別商談コーナー



体験コーナー

主催者 静岡県(ふじのくにセルロース循環経済フォーラム) 富士市(富士市CNFプラットフォーム)

後援 (予定) 経済産業省/ナノセルロースジャパン/京都市産業技術研究所/京都大学/四国CNFプラットフォーム/
薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会/晴れの国CNF連絡会/みやぎCNFプロジェクトチーム

【お問い合わせ】 静岡県新産業集積課 TEL. 054-221-2985 E-mail. trc@pref.shizuoka.lg.jp

<トピックス>

世界お茶まつり2025

World O-CHA Festival 2025, Shizuoka, Japan

光輝燦然

#私のO-CHA和ールド

秋の祭典

Autumn Festival

2025 10.23 (THU) - 10.26 (SUN)

会場では、国内外の様々なお茶を楽しむコーナーや、お茶や茶器の販売、新しい時代のライフスタイルに合ったお茶の提案などが楽しめます。



<トピックス>



太陽光発電システムをおトクに購入できる 共同購入に参加しませんか？

【参加募集期間】

2025年 5月28日 ▶ 2025年 10月22日まで

施工の枠が埋まり次第締め切らせて頂く場合がございます。



スケールメリットによる
設置費用削減



優良な販売施工事業者からの
最適な提案

共同購入とは

複数の事業者が集まることで生まれる購買力を活かして、太陽光発電システムの導入費用低減ができる仕組みです。販売施工事業者は厳格な審査および入札を経て選定されるため、高い品質を確保しながら価格競争力のある提案を受けられます。

事業概要PDF



国の税額控除制度「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」を活用できる場合があります

昨年度事業実績

市場価格より

最大32%OFF

(129,000円/kW:100~250kW帯)

シミュレーション例

●設置容量:120kW ●年間発電電力量:13,200kWh ●年間電気削減額:約317万円

通常購入の場合

設置費用

2,280万円

共同購入の場合

設置費用

1,548万円

**約4.8年
で回収**

※令和6年度に実施された他県での実績です。資源エネルギー庁が公表する「令和6年度以降の調達価格等に対する意見」に記載のシステム費用平均を市場価格とし、割引率を算出しております。

静岡県内事業者の皆さまへ



県では、公募により選定した事業者とともに、太陽光発電や蓄電池の購入希望者を募り、一括して発注することで、おトクに購入することができる共同購入事業を今年度も実施しております。

太陽光発電設備と蓄電池を組み合わせれば、災害に対する備えになります。この機会にぜひ設置をご検討ください。

静岡県より



静岡県イメージキャラクター
「ふじっぴー」©静岡県

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7 月 = 39,801百万円

* 前年同月比： 1.7%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概 況>

7月の大型小売店販売額は39,801百万円で、前年同月比 1.7%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 4.2%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 2.7%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 21.3%減）が7か月連続、身の回り品（同 19.4%減）が9か月連続、家庭用品（同 10.9%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 4.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.9%増と、19か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販 売 額 (百 万 円)	47,865	39,903	36,272	40,511	37,850	39,155	38,899	39,801
前 年 同 月 比 (%)	2.3	2.1	2.1	3.6	4.9	4.4	2.1	1.7
うち 百貨店 (%)	2.2	3.3	3.2	▲ 1.0	0.7	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 4.2
スーパー (%)	2.4	1.9	1.9	4.4	5.6	5.5	3.8	2.7
(参考1) 全国前年同月比 (%)	2.9	2.9	0.6	1.7	1.5	0.6	▲ 0.1	0.4
うち 百貨店 (%)	2.8	5.1	▲ 1.7	▲ 2.9	▲ 4.5	▲ 7.0	▲ 7.7	▲ 6.1
スーパー (%)	3.0	2.1	1.6	3.7	3.9	3.6	3.1	3.1
(参考2) 県前年同月比 (店舗数調整前)	3.0	3.2	3.8	4.7	5.1	4.7	2.3	1.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣 料 品	0.2	▲ 4.8	▲ 17.8	▲ 17.1	▲ 19.4	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 21.3
うち 紳士服・洋品	▲ 1.4	▲ 2.7	▲ 19.5	▲ 19.6	▲ 24.6	▲ 19.6	▲ 21.3	▲ 29.0
婦人・子供服・洋品	▲ 0.1	▲ 5.8	▲ 17.8	▲ 16.7	▲ 17.8	▲ 17.6	▲ 16.6	▲ 18.0
身 の 回 り 品	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 5.8	▲ 15.5	▲ 17.5	▲ 10.1	▲ 22.1	▲ 19.4
飲 食 料 品	2.1	3.5	2.6	5.0	7.5	6.8	4.2	4.3
家 庭 用 品	4.1	▲ 3.1	▲ 6.3	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 6.5	▲ 1.7	▲ 10.9
うち家庭用電気機械器具	6.9	▲ 2.8	13.4	5.0	4.7	5.2	13.8	▲ 1.3

(注) 店舗数調整済、全月速報値

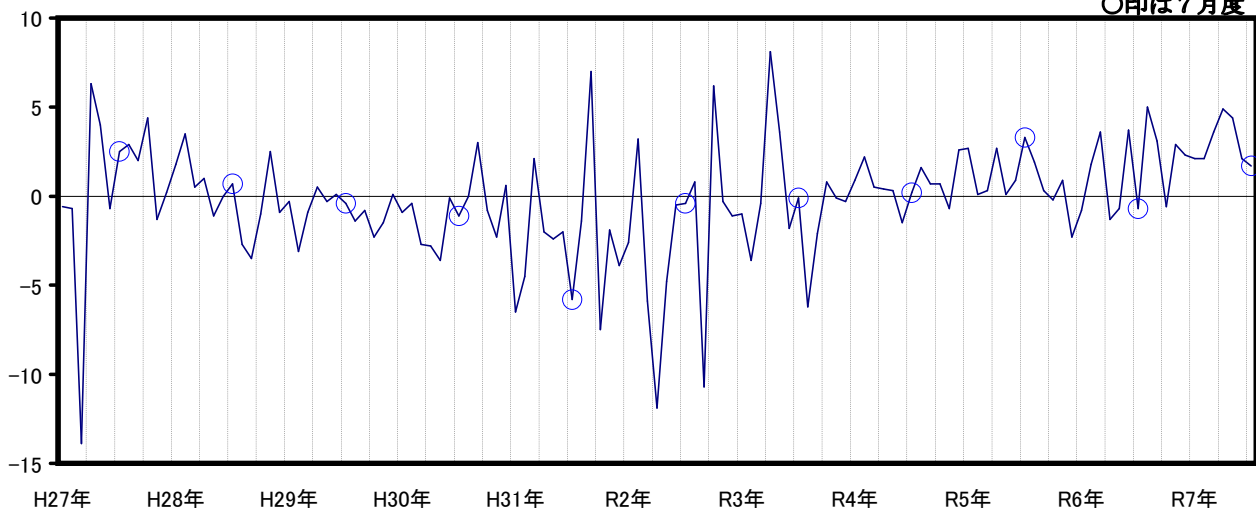
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(2) 専門量販店等販売額

7 月 = 85,310百万円

*前年同月比： 0.1%減

(県内92家電大型専門店、1,668コンビニエンスストア、622ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

7月の専門量販店等販売額は85,310百万円で、前年同月比 0.1%減となり、43か月ぶりに前年実績を下回った。
業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 1.1%増）が5か月連続、ドラッグストア（同 3.4%増）が51か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 12.6%減）が9か月ぶり、ホームセンター（同 2.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
販 売 額（百 万 円）	89,980	76,831	71,641	83,621	77,470	80,070	81,786	85,310
前 年 同 月 比（%）	4.5	3.0	1.0	4.0	2.3	3.4	4.3	▲ 0.1
うち 家電大型専門店（%）	4.1	2.7	5.5	3.2	3.2	5.9	4.5	▲ 12.6
コンビニエンスストア（%）	2.9	2.8	▲ 0.6	3.0	1.8	2.2	4.3	1.1
ドラッグストア（%）	6.4	4.8	1.7	6.4	3.8	5.3	4.6	3.4
ホームセンター（%）	3.5	▲ 2.9	0.0	▲ 0.5	▲ 2.3	▲ 0.6	2.7	▲ 2.0
(参考) 全国前年同月比（%）	3.5	4.5	2.1	5.0	3.6	4.5	5.3	2.5

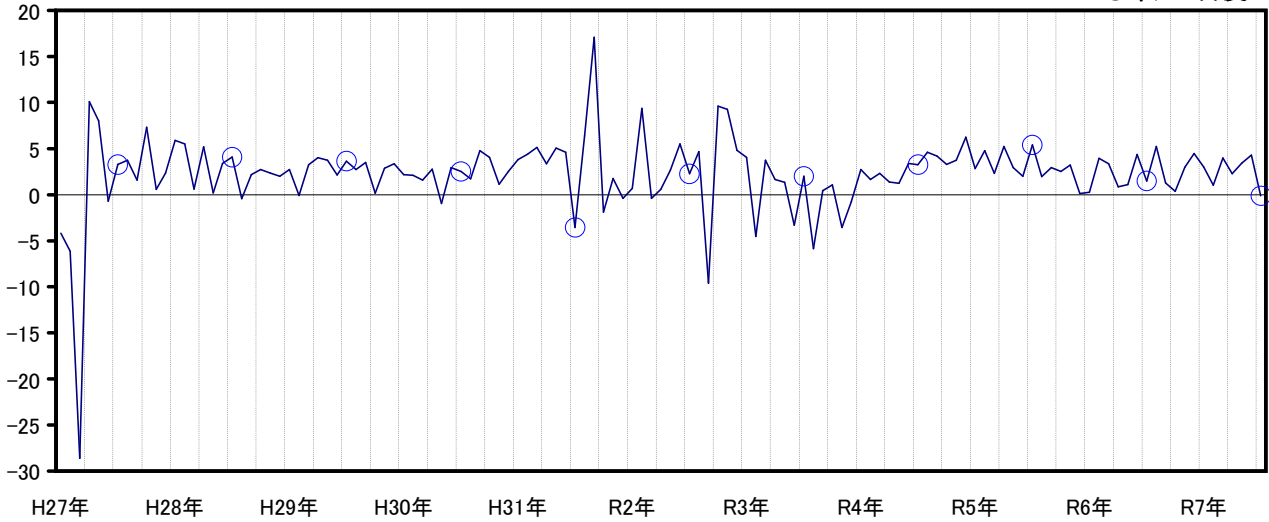
(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省
○印は7月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数
(乗用車、軽自動車合計)

7月 = 12,819 台

* 前年同月比： 3.5%減

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は、12,819台で、7か月ぶりに前年実績を下回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.9%減)が2か月ぶり、軽自動車(同 4.4%減)が7か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	11,603	14,274	15,574	17,219	11,709	10,847	13,690	12,819
前年同月比(%)	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲ 3.5
(参考)全国前年同月比(%)	1.7	15.0	18.8	9.6	11.0	3.1	5.5	1.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

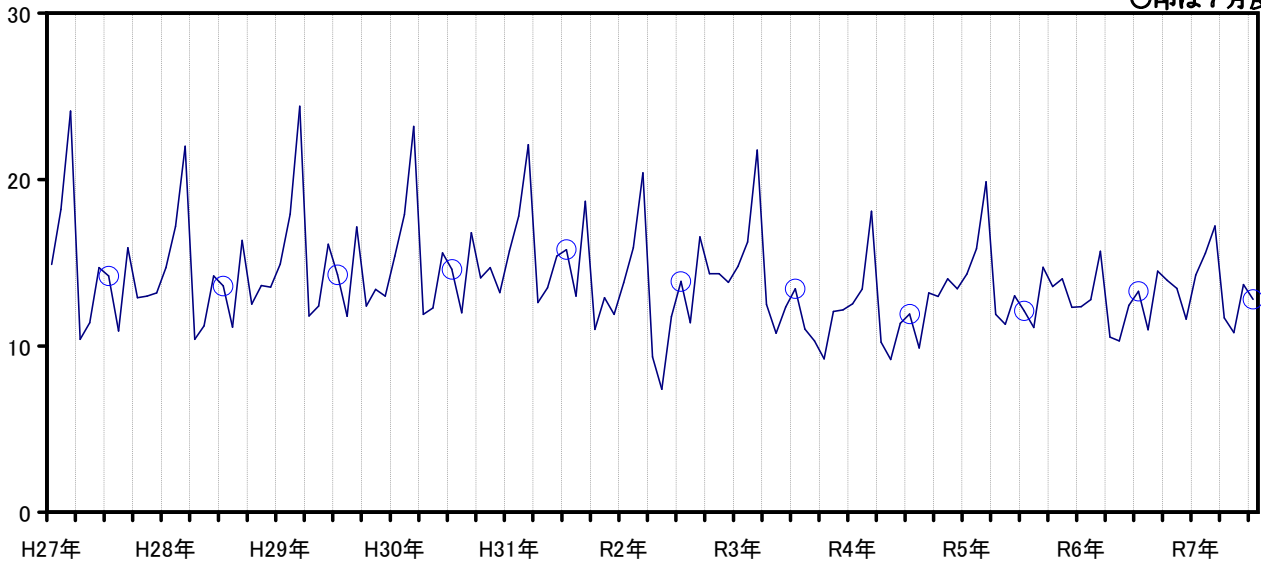
	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0	5.4	10.1	▲ 3.5
乗用車	▲ 7.8	17.8	19.9	9.4	▲ 0.1	▲ 0.1	8.6	▲ 2.9
軽自動車	▲ 3.8	12.7	24.3	10.1	26.6	12.3	11.9	▲ 4.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は7月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,662 戸

*前年同月比： 1.5%増

<概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,664戸で、前年同月比 1.5%増と、6か月ぶりに前年実績を上回った。
利用関係別にみると、貸家（前年同月比 7.2%減）が2か月ぶり、持家（同 5.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、分譲住宅（同 61.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
戸 数 (戸)	1,047	1,995	1,381	1,525	1,412	1,174	1,364	1,662
前 年 同 月 比 (%)	▲ 30.8	51.6	▲ 11.0	▲ 4.6	▲ 19.3	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5
うち 持 家 (%)	1.1	1.9	3.1	17.7	▲ 16.8	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7
貸 家 (%)	▲ 67.7	174.3	▲ 37.5	▲ 25.6	▲ 41.5	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2
分譲住宅 (%)	▲ 37.1	28.3	15.9	11.1	14.4	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4	39.1	▲ 26.6	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7

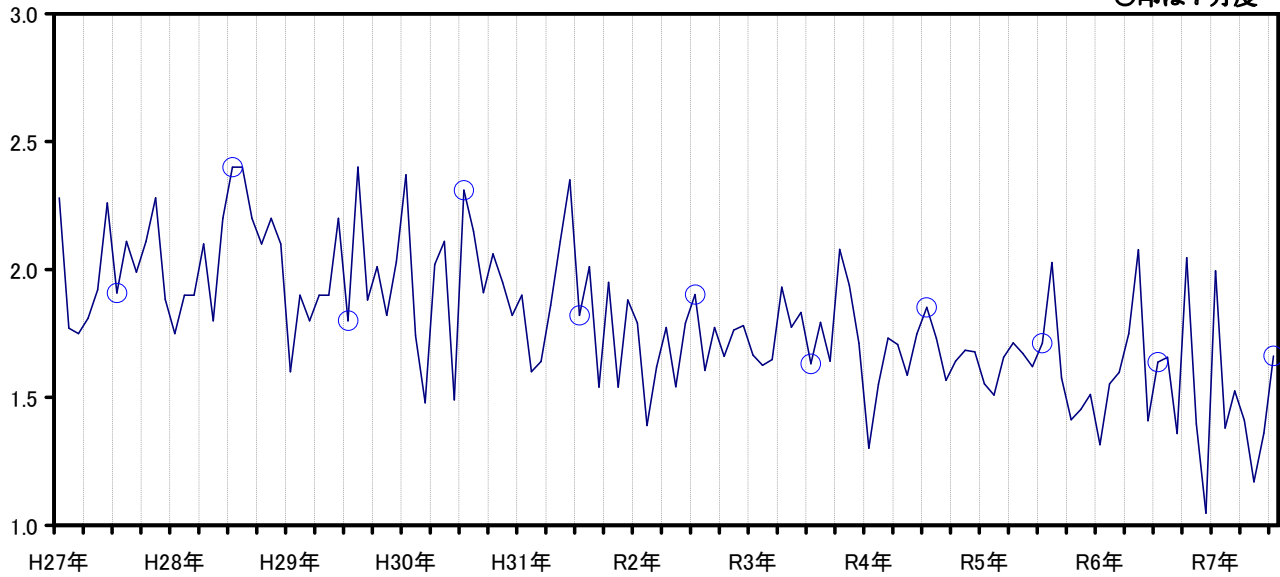
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は7月度



3 公共工事請負金額

(建設保証会社保証実績)

7 月 = 37,302百万円

* 前年同月比 : 6.2%増

<概 況>

7月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は37,302百万円で、前年同月比 6.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は832件で、前年同月比9.3%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
金 額 (百 万 円)	11,371	15,285	13,099	31,501	65,432	43,571	51,879	37,302
前 年 同 月 比 (%)	▲ 26.2	▲ 14.9	▲ 7.9	36.2	24.7	▲ 9.2	39.8	6.2
年度累計前年同月比 (%)	4.5	3.3	2.7	5.1	24.7	8.5	16.9	14.7
件 数 (件)	412	261	192	540	445	542	711	832
前 年 同 月 比 (%)	▲ 9.6	▲ 5.8	0.0	33.3	▲ 19.2	▲ 19.1	▲ 7.4	9.3
年度累計前年同月比 (%)	▲ 3.0	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 14.6	▲ 8.0

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
国	92.3	▲ 27.7	▲ 6.8	48.7	▲ 32.8	▲ 22.3	6.4	65.9
独 立 行 政 法 人 等	▲ 68.8	36.0	-	▲ 74.2	▲ 32.1	▲ 34.7	250.7	9.1
県	▲ 28.7	13.2	▲ 33.8	77.1	▲ 2.0	▲ 13.0	58.2	11.6
市 町	▲ 26.1	▲ 38.1	12.3	18.2	23.2	7.2	24.7	▲ 13.7
地 方 公 社	-	-	-	-	-	-	74.7	47.0
そ の 他	▲ 57.8	158.2	▲ 14.2	▲ 21.4	364.1	25.3	383.0	14.2

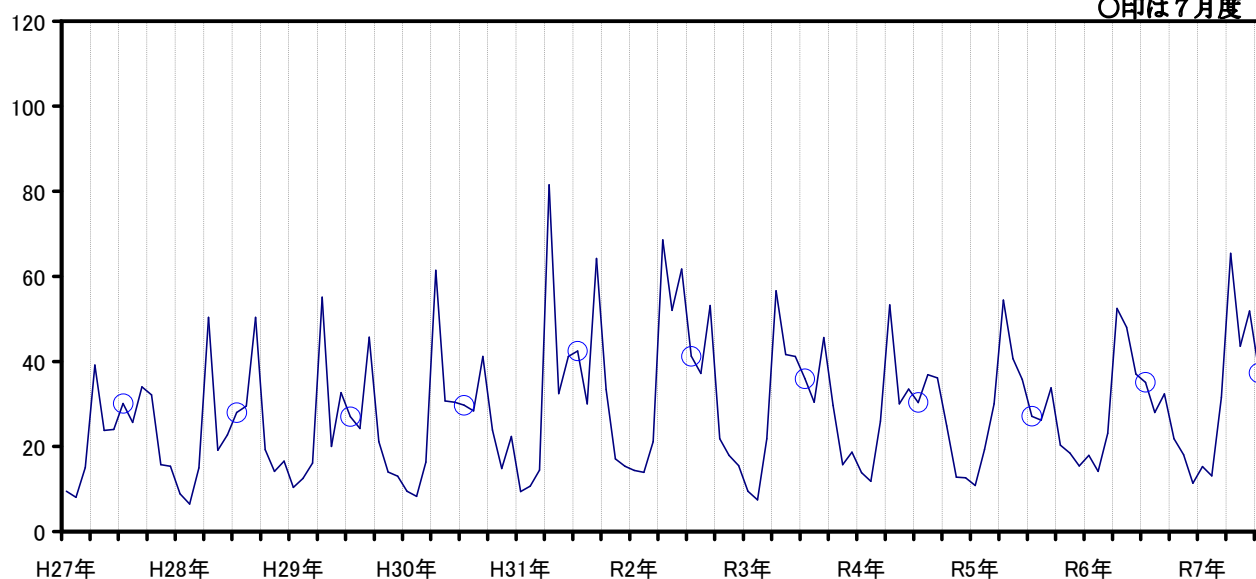
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は7月度



4 設備投資

<概 況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 42.2%増）、非製造業（同 3.4%増）、全産業（同 24.8%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 18.7%増）、非製造業（同 3.4%増）、全産業（同 15.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は89,689㎡で、前年同月比 46.3%増となり、6か月ぶりに前年実績を上回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲4.4) 7.2	24.8
	全国	(▲0.6) 7.5	6.7
製造業	県	(▲5.2) 11.5	42.2
	全国	(▲3.8) 7.3	12.4
非製造業	県	(▲3.3) 2.4	3.4
	全国	(1.3) 7.6	3.6

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲1.0) 11.7	15.4
	全国	(▲1.4) 6.9	8.7
製造業	県	(0.1) 15.1	18.7
	全国	(▲2.8) 6.6	9.6
非製造業	県	(▲4.9) 0.8	3.4
	全国	(0.2) 7.1	7.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）を追加

〈資料〉日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年6月調査)

＜最近の動き＞

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
普通建筑物床面积（非居住用）（㎡）	54,072	161,859	69,348	43,226	86,908	91,242	34,889	89,689
前年同月比（%）	▲ 47.9	88.3	▲ 73.6	▲ 36.6	▲ 5.9	▲ 35.8	▲ 77.5	46.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 14.3	▲ 23.9	2.5	7.5	0.9	22.8	▲ 13.9	▲ 20.7

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D.I.＞

		R 7 年 3 月	R 7 年 6 月	R 7 年 9 月 (予測)
全 産 業		6	5	2
	製 造 業	▲ 4	▲ 7	▲ 6
	非 製 造 業	16	16	9
(参考) 全国 ・ 全産業		15	15	9

(注4) 業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年6月調査)」

5 輸出

7 月 = 227, 191百万円

* 前年同月比： 7.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は227,191百万円で、前年同月比 7.5%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 6.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車の部分品（同 6.0%減）が3か月ぶり、二輪自動車類（同 12.9%減）が6か月ぶり、エアコン（同 26.3%減）が2か月連続、自動車（同 4.7%減）が7か月連続、科学光学機器（同 42.5%減）が12か月連続で前年実績を下回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 5.6%減）が3か月連続、米国向け（同 11.5%減）が5か月連続、EU向け（同 17.7%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸 出 総 額（百 万 円）	242,029	164,049	219,821	218,345	222,309	183,410	217,473	227,191
前 年 同 月 比（%）	2.7	▲ 12.8	▲ 2.9	▲ 3.3	▲ 1.5	▲ 5.8	▲ 4.0	▲ 7.5
（参考）全国前年同月比（%）	2.8	7.2	11.4	3.9	2.0	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 2.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原 動 機	▲ 21.1	1.1	14.9	▲ 15.6	8.2	▲ 8.6	17.4	6.5
エ ア コ ン	185.3	192.4	152.2	212.4	61.8	47.1	▲ 3.3	▲ 26.3
自 動 車	52.3	▲ 54.2	▲ 33.0	▲ 50.5	▲ 18.9	▲ 51.5	▲ 35.6	▲ 4.7
自 動 車 の 部 分 品	▲ 10.2	▲ 6.5	▲ 11.8	▲ 10.8	▲ 6.3	4.7	11.4	▲ 6.0
二 輪 自 動 車 類	6.6	▲ 44.5	2.3	19.2	9.3	3.9	9.6	▲ 12.9
科 学 光 学 機 器	▲ 28.2	▲ 14.8	▲ 22.9	▲ 30.2	▲ 24.6	▲ 21.4	▲ 31.2	▲ 42.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ア ジ ア	▲ 2.2	6.0	5.0	▲ 1.7	0.8	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 5.6
米 国	▲ 11.8	▲ 11.0	0.8	▲ 5.9	▲ 2.0	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 11.5
E U	18.6	▲ 41.1	▲ 17.4	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 22.9	▲ 9.2	▲ 17.7

<資料>清水税関支署

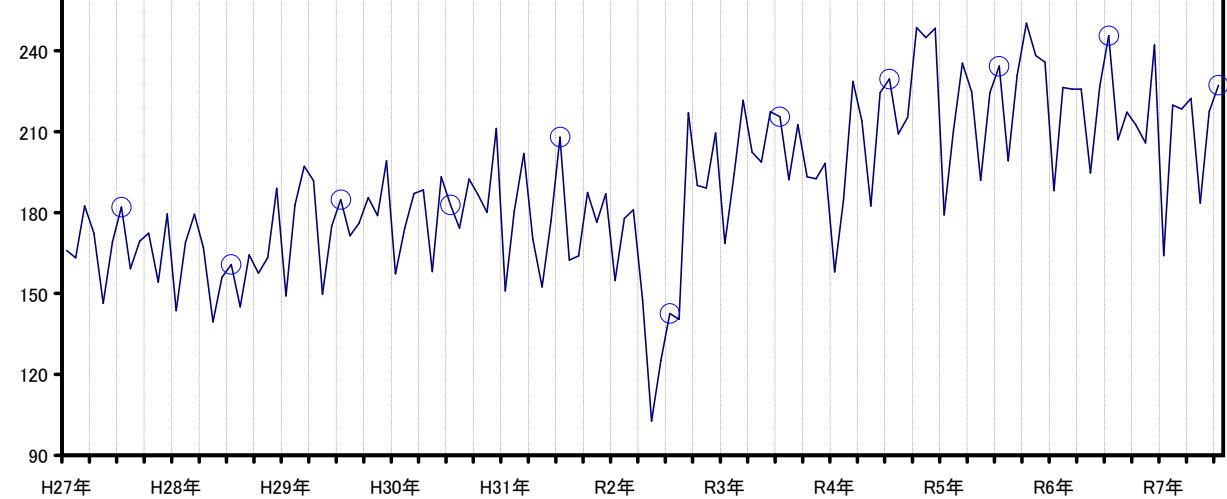
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は7月度



6 輸入

7 月 = 132,056百万円

* 前年同月比： 5.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は132,056百万円で、前年同月比 5.8%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 2.0%減）、自動車の部分品（同 3.0%減）がいずれも2か月ぶり、木材（同 0.2%減）が3か月ぶり、パルプ（同 15.8%減）、原動機（同 60.9%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品（同 1.2%増）が3か月連続で前年実績を上回った。
 地域別では、米国から（同 2.7%増）が7か月ぶり、EUから（同 10.1%増）が2か月ぶり、アジアから（同 14.1%増）が3か月連続に前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸 入 総 額（百 万 円）	120,797	140,016	100,909	117,149	120,831	133,766	123,946	132,056
前 年 同 月 比（%）	6.4	▲ 5.4	▲ 8.9	13.8	▲ 0.4	2.3	11.4	5.8

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚 介 類 及 び 同 調 製 品	▲ 18.1	30.7	▲ 3.3	1.1	30.6	▲ 4.5	5.9	▲ 2.0
木 材	▲ 28.7	8.0	▲ 22.4	▲ 29.1	▲ 14.9	29.3	0.1	▲ 0.2
パ ル プ	56.7	55.7	30.3	▲ 1.3	8.0	▲ 5.7	▲ 18.1	▲ 15.8
紙 類 及 び 同 製 品	32.3	0.6	19.9	27.4	▲ 27.0	2.2	28.6	1.2
原 動 機	▲ 32.1	7.6	▲ 40.3	▲ 19.8	15.9	▲ 39.6	▲ 0.8	▲ 60.9
自 動 車 の 部 分 品	▲ 12.8	10.9	▲ 22.7	▲ 17.1	▲ 7.1	▲ 17.1	0.2	▲ 3.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

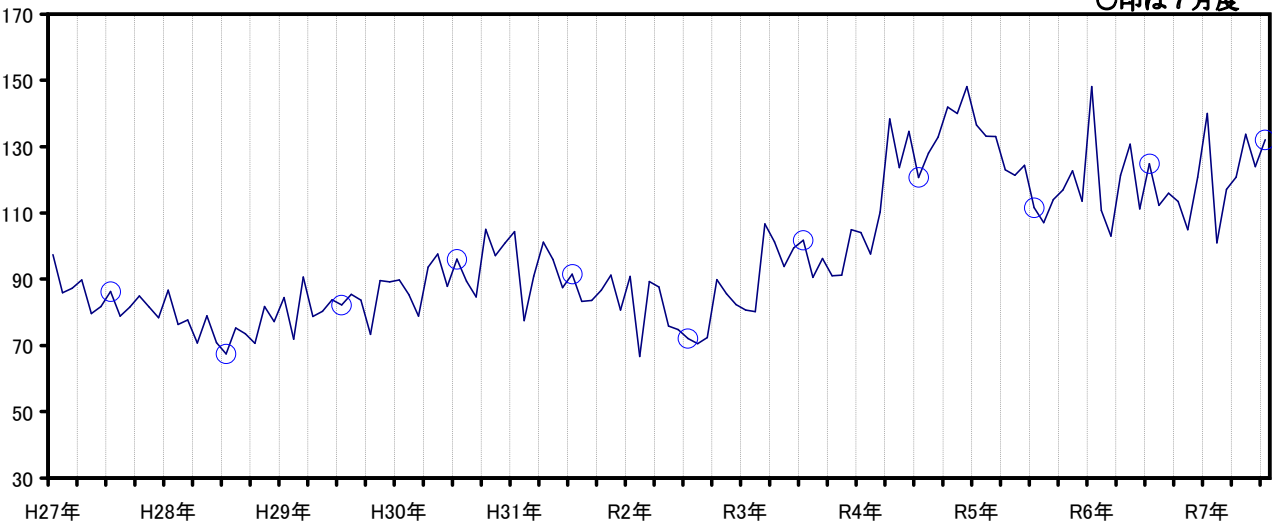
	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ア ジ ア	▲ 0.7	9.3	▲ 12.3	26.5	▲ 0.7	8.0	7.1	14.1
米 国	5.0	▲ 75.5	▲ 33.2	▲ 16.7	▲ 38.5	▲ 31.3	▲ 15.9	2.7
E U	15.0	164.0	▲ 3.8	▲ 17.7	▲ 6.5	5.5	▲ 14.4	10.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は7月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7 月 = 93.7

(令和 2 年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 2.7%減

* 前年同月比(原指数) : 4.1%減

<概況>

7 月の鉱工業生産指数(総合)は93.7(季節調整済指数)で、前月比は2.7%減と、2 か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は4.1%減と、2 か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比 9.9%増)が11 か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 6.6%減)が2 か月ぶり、輸送機械(同 4.1%減)が12 か月連続、化学(同 14.4%減)が7 か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 3.8%減)が3 か月連続、食料品・たばこ(同 4.9%減)が4 か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
指数	92.8	99.0	97.9	93.9	93.3	99.8	96.3	93.7
前 月 比 (%)	▲ 2.8	6.7	▲ 1.1	▲ 4.1	▲ 0.6	7.0	▲ 3.5	▲ 2.7
前 年 同 月 比 (%)	▲ 3.9	4.1	▲ 5.3	▲ 2.1	▲ 3.6	▲ 4.0	1.7	▲ 4.1
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.2	2.2	0.1	1.0	0.5	▲ 2.4	4.4	▲ 0.4

(注) 令和 2 年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年12月	R 7 年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 18.3	▲ 0.9	▲ 31.6	▲ 14.2	▲ 23.8	▲ 1.8	0.0	▲ 6.6
電 気 機 械 工 業	11.6	26.4	17.0	34.0	30.7	14.8	25.4	9.9
輸 送 機 械 工 業	▲ 13.8	▲ 0.1	▲ 6.5	▲ 16.8	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 2.1	▲ 4.1
化 学 工 業	9.5	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 3.3	▲ 11.0	▲ 18.5	▲ 7.6	▲ 14.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 3.8	▲ 2.2	▲ 3.6	2.5	1.5	▲ 0.4	▲ 2.0	▲ 3.8
食料品・たばこ工業	▲ 6.5	4.7	▲ 2.9	2.2	▲ 15.6	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 4.9

(注) 令和 2 年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

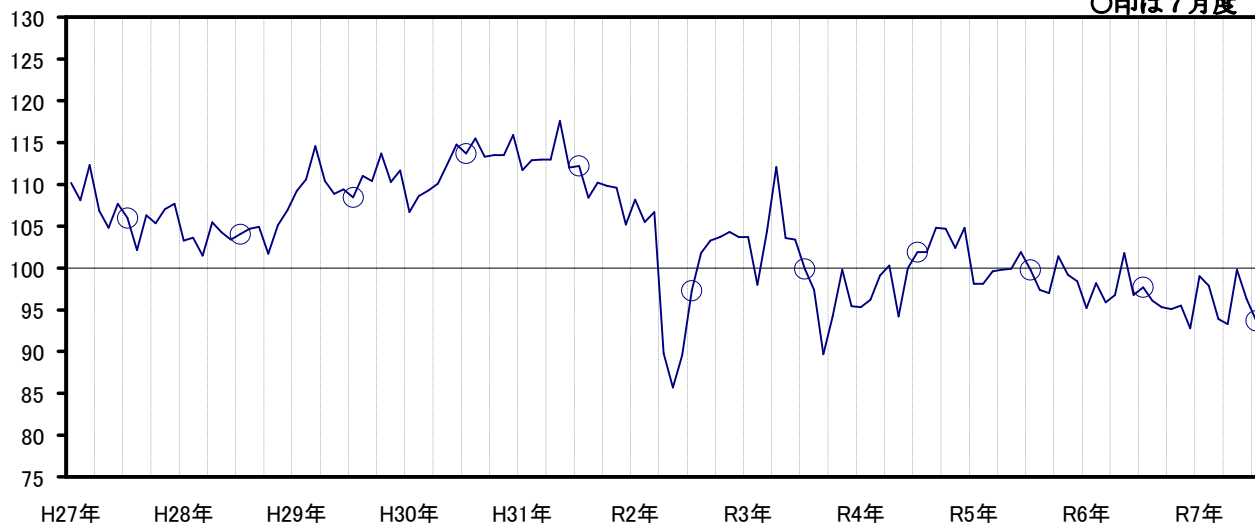
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計活用課

○印は7月度



(2) 鋳工業在庫指数

7 月 = 102.1

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 2.6%減

* 前年同月比(原指数) : 2.6%減

<概 況>

7 月の鋳工業在庫指数（総合）は102.1（季節調整済指数）で、前月比は2.6%減と、2 か月ぶりに減少した。また、前年同月比（原指数）は2.6%減と、8 か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。

業種別にみると、電気機械（前年同月比 2.1%増）が2 か月連続、化学（同 6.3%増）が9 か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 4.6%増）が14か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械（同 5.3%減）が8 か月連続、輸送機械（同 13.7%減）が4 か月連続、食料品・たばこ（同 11.3%減）が2 か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
指 数	98.8	101.3	103.2	105.6	103.0	102.8	104.8	102.1
前 月 比 (%)	▲ 5.2	2.5	1.9	2.3	▲ 2.5	▲ 0.2	1.9	▲ 2.6
前 年 同 月 比 (%)	▲ 6.0	▲ 2.8	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 2.6
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 1.9	0.6	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 2.4

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 7.6	▲ 8.5	▲ 12.6	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 5.3
電 気 機 械 工 業	▲ 10.8	▲ 7.6	▲ 6.5	3.2	0.1	▲ 7.1	3.4	2.1
輸 送 機 械 工 業	▲ 29.1	▲ 10.9	7.5	0.3	▲ 13.6	▲ 17.6	▲ 7.6	▲ 13.7
化 学 工 業	4.7	4.5	0.7	2.5	1.6	0.4	4.8	6.3
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	4.5	1.9	0.6	5.4	7.7	11.0	8.0	4.6
食 料 品 ・ た ば こ 工 業	8.5	5.1	▲ 0.8	0.8	3.0	3.4	▲ 2.0	▲ 11.3

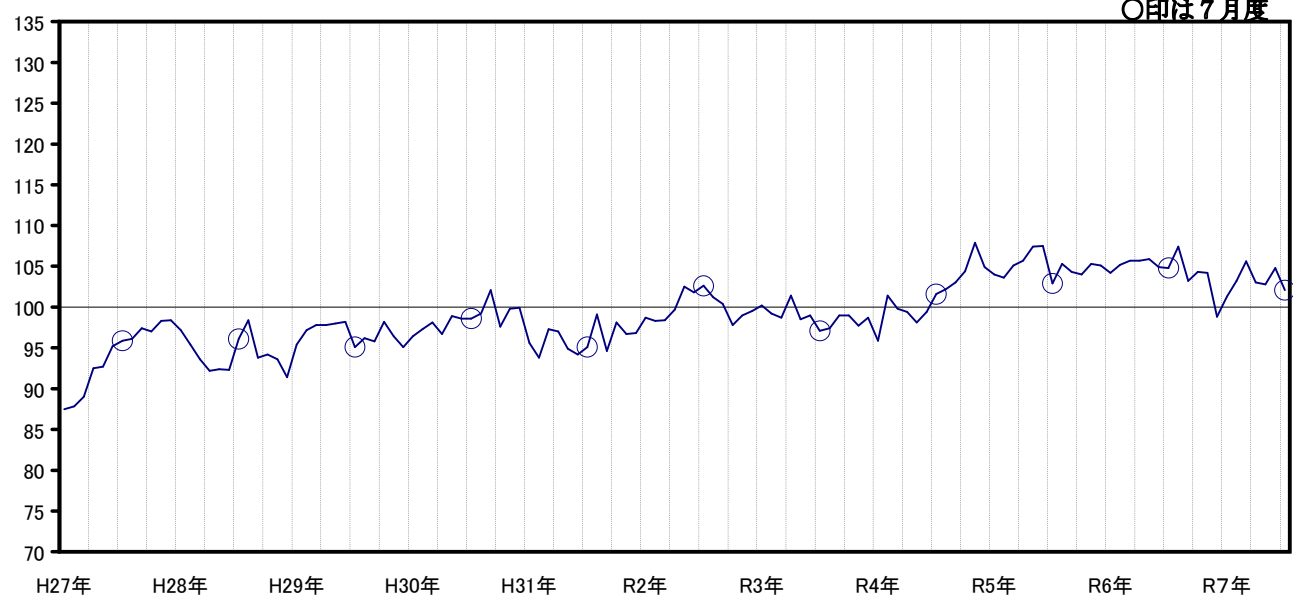
(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計活用課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7 月 = 1.05倍

*前月比（季節調整値）： 0.02ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

7月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.05倍となり、前月を0.02ポイント下回った。54か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.17ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 3.3%減）は3か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、運輸業・郵便業（前年同月比 3.3%増）、卸売業・小売業（同 18.9%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業（同 4.1%減）、情報通信業（同 15.7%減）、医療・福祉（同 0.7%減）がいずれも2か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同 12.1%減）が4か月ぶり、製造業（同 16.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県（受理地別）	1.08	1.10	1.09	1.09	1.10	1.08	1.07	1.05
（参考）県（就業地別）	1.22	1.25	1.24	1.24	1.23	1.23	1.23	1.19
全 国	1.25	1.26	1.24	1.26	1.26	1.24	1.22	1.22

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 6年12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	▲ 12.8	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 6.0	▲ 3.6	▲ 4.4	0.3	▲ 4.1
製 造 業	▲ 14.2	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 9.5	▲ 7.0	8.0	▲ 0.8	▲ 16.2
情 報 通 信 業	▲ 26.6	26.0	▲ 13.4	▲ 20.7	▲ 37.8	▲ 31.3	11.5	▲ 15.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 4.9	21.9	▲ 19.7	▲ 6.0	20.3	▲ 11.6	5.7	3.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 41.8	▲ 31.8	34.0	▲ 16.5	55.9	▲ 21.9	4.4	18.9
医 療 ・ 福 祉	▲ 4.7	3.8	▲ 2.3	0.1	▲ 0.2	▲ 4.3	0.6	▲ 0.7
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 13.0	4.7	▲ 6.5	▲ 10.2	2.5	7.6	0.4	▲ 12.1
合 計	▲ 13.6	▲ 4.4	▲ 1.6	▲ 7.8	4.6	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 3.3

（注）学卒、パートタイムを除く

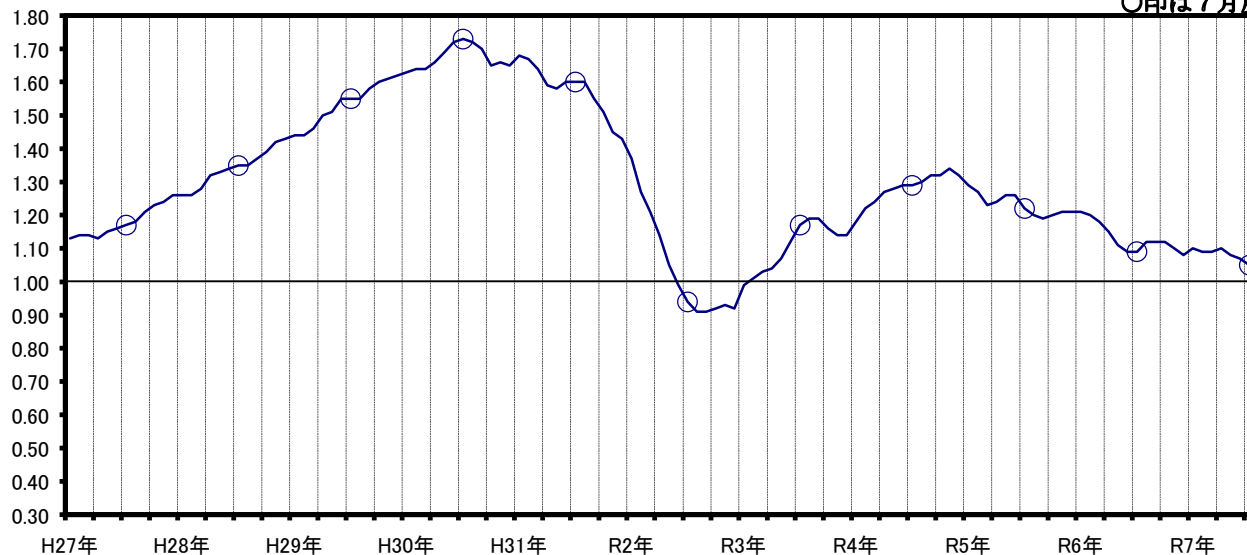
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は7月度



(2) 雇用保険受給者実人員

7 月 = 15,013人

*前 月 比: 15.6%増

*前年同月比: 8.3%増

<概 況>

7月の雇用保険受給者実人員は15,013人で、前月比は15.6%増と、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は8.3%増と2か月連続で前年実績を上回った。
完全失業率（全国）は2.3%と前月から0.2ポイント改善した。
静岡県（令和7年4～6月）の完全失業率は2.1%で、前期（令和7年1～3月）から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
実 人 員 (人)	12,282	12,029	11,522	11,216	11,217	12,059	12,992	15,013
前 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 4.2	▲ 2.7	0.0	7.5	7.7	15.6
前 年 同 月 比 (%)	5.9	4.9	3.2	5.9	0.2	▲ 0.8	4.2	8.3
(参考)全国前年同月比 (%)	2.0	0.8	▲ 0.7	0.9	▲ 2.5	▲ 2.3	5.4	7.2

<資料>厚生労働省

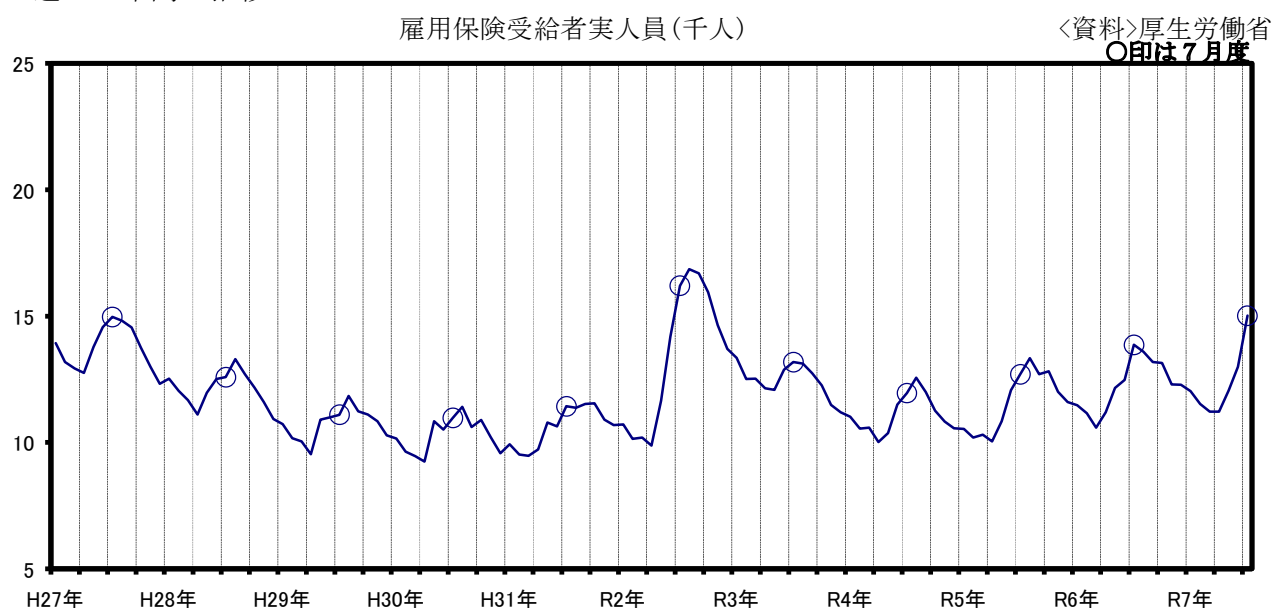
<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
完全失業率(全国) (%)	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.3

(注) 季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>



(3) 所定外労働時間指数

6 月 = 124.3

* 前月比(季節調整済指数): 0.2%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 0.7%減

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は124.3(季節調整済指数)で、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は0.7%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比 22.4%増)が4か月ぶり、情報通信業(同 38.0%増)、運輸業・郵便業(同 11.5%増)がいずれも5か月連続で前年実績を上回ったものの、その他のサービス業(同 6.1%減)が3か月ぶり、建設業(同 20.9%減)が7か月連続、製造業(同 9.1%減)、卸売業・小売業(同 15.1%減)がいずれも10か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年11月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	129.3	120.1	113.8	119.7	117.3	122.1	124.0	124.3
前月比(%)	8.6	▲ 7.1	▲ 5.2	5.2	▲ 2.0	4.1	1.6	0.2
前年同月比(%)	9.5	3.2	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.7	▲ 3.3	▲ 0.9	▲ 2.5	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6年11月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	11.7	▲ 2.7	▲ 36.7	▲ 39.3	▲ 2.2	▲ 13.1	▲ 30.1	▲ 20.9
製造業	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 9.1	▲ 6.7	▲ 4.9	▲ 7.5	▲ 9.5	▲ 9.1
情報通信業	▲ 39.4	▲ 37.1	▲ 8.0	19.9	4.3	2.3	43.1	38.0
運輸業・郵便業	▲ 14.9	▲ 20.3	▲ 0.5	23.7	16.6	14.7	10.6	11.5
卸売業・小売業	▲ 14.7	▲ 22.0	▲ 2.7	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 15.1
医療・福祉	▲ 14.5	▲ 9.0	5.1	4.9	▲ 11.8	▲ 3.0	0.0	22.4
その他のサービス業	58.3	40.3	▲ 19.9	▲ 1.3	▲ 7.5	2.7	2.2	▲ 6.1
調査産業計	9.5	3.2	▲ 9.2	▲ 0.8	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7

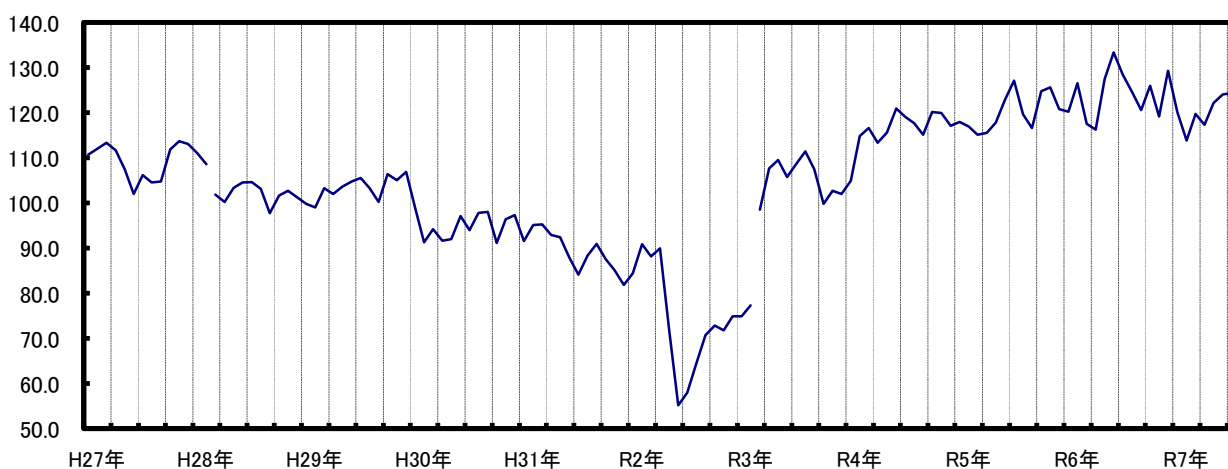
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

8 月 = 126.5

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 2.7%上昇

<概 況>

8月の国内企業物価指数は126.5となり、前月比は0.2%の下降となった。また、前年同月比は2.7%の上昇となった。

	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
国内企業物価指数	125.5	125.8	126.2	126.6	126.5	126.3	126.7	126.5
前 月 比 (%)	0.3	0.2	0.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.2	0.3	▲ 0.2
前 年 同 月 比 (%)	4.2	4.3	4.3	3.9	3.1	2.7	2.5	2.7

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

5 月 = 145,267億円

*前 月 比: 0.0%増

*前年同月比: 1.9%増

<概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,267億円で、前月比と同水準だった。また、前年同月比は1.9%の増加となった。

	R 6 年 12 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
貸出残高(億円)	144,158	143,689	143,648	144,009	143,374	145,233	145,216	145,267
前 月 比 (%)	0.5	▲ 0.3	0.0	0.3	▲ 0.4	1.3	0.0	0.0
前 年 同 月 比 (%)	0.5	1.0	0.9	0.2	1.0	2.0	1.6	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

7 月 = 1.542%

*前 月 差: 0.008ポイント増

*前年同月差: 0.274ポイント増

<概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.542%で、前月から0.008ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.274ポイントのプラスとなった。

	R 6 年 12 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
貸出約定金利(%)	1.367	1.384	1.398	1.435	1.483	1.485	1.534	1.542
前 月 差 (ポイント)	0.043	0.017	0.014	0.037	0.037	0.002	0.049	0.008
前年同月差(ポイント)	0.113	0.130	0.145	0.179	0.179	0.213	0.268	0.274

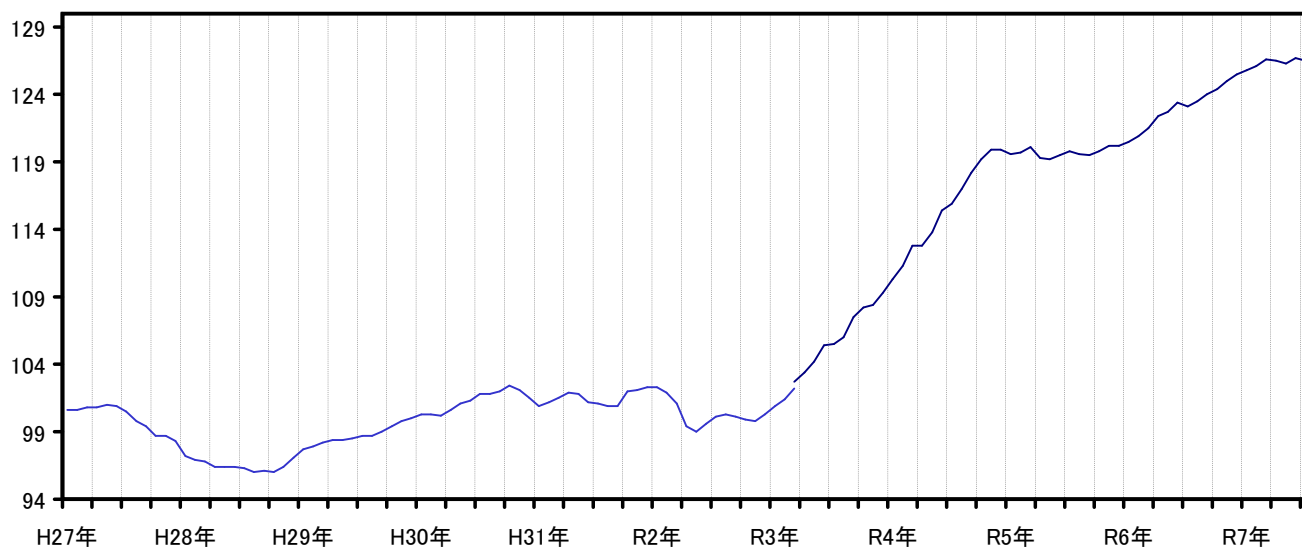
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

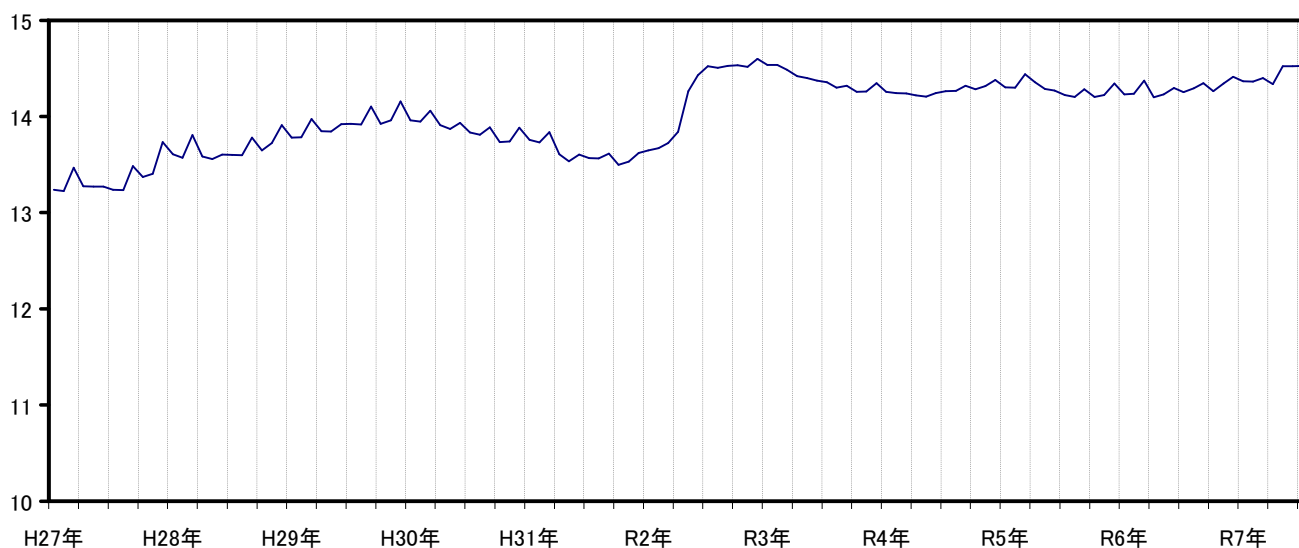
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



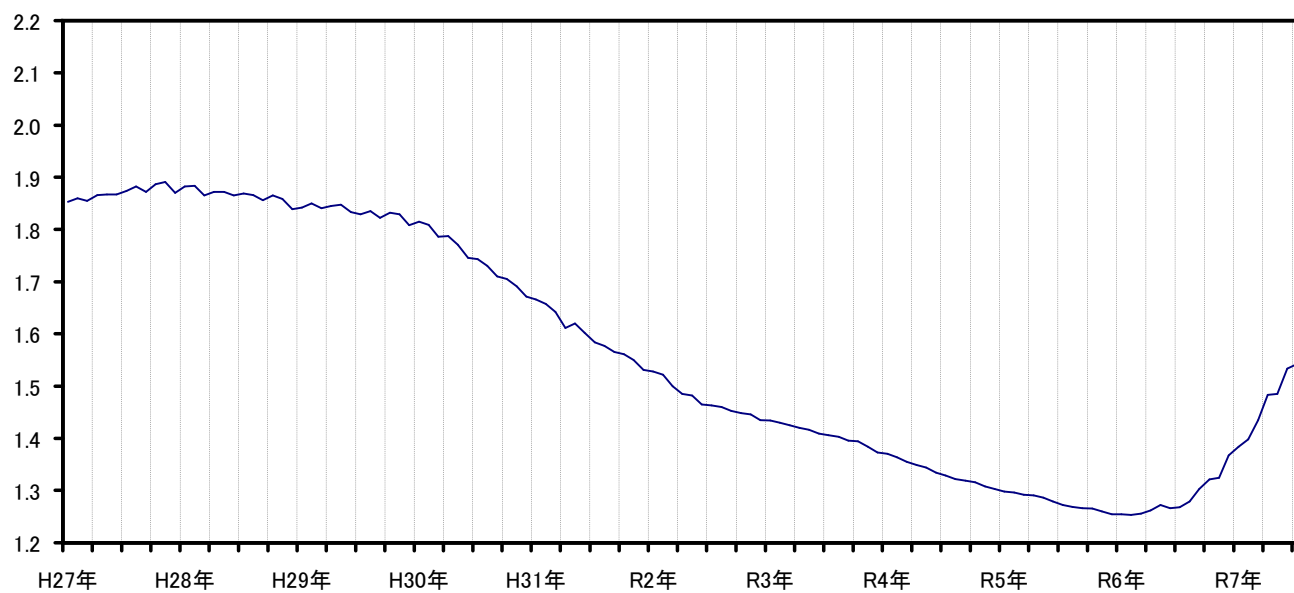
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

7 月 = 22,299百万円

*前年同月比： 2.8%減

<概 況>

7月の保証承諾は、金額は22,299百万円（前年同月比 2.8%減）、件数は1,753件（同 2.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
保証金額（百万円）	17,220	11,797	12,702	28,519	28,272	32,981	28,829	22,299
前年同月比（%）	▲ 45.8	▲ 44.5	▲ 47.7	▲ 27.2	73.9	52.2	▲ 4.9	▲ 2.8
保証件数（件）	1,444	1,190	1,270	2,183	1,810	2,030	1,961	1,753
前年同月比（%）	▲ 35.5	▲ 22.5	▲ 29.2	▲ 14.8	32.2	18.6	▲ 9.2	▲ 2.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

8 月 = 147.67円/ドル

*前 月 差： 3.17円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 10.39円高

<概 況>

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は147.67円で、前月と比べて3.17円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
平均相場（円）	156.49	151.96	149.18	144.39	144.75	144.50	146.71	147.67
前 月 差（円）	2.77	▲ 4.53	▲ 2.78	▲ 4.79	0.36	▲ 0.25	2.21	3.17
前年同月差（円）	9.92	2.54	▲ 0.45	▲ 9.04	▲ 11.38	▲ 13.32	▲ 11.35	▲ 10.39

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

7 月 = 20件

*前年同月比： 23.1%減

<概 況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は20件（前年同月比 23.1%減）と前年実績を下回り、負債総額は 3,548百万円（同 58.0%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が18件と全体の90.0%を占め、27か月連続で50%以上となっている。

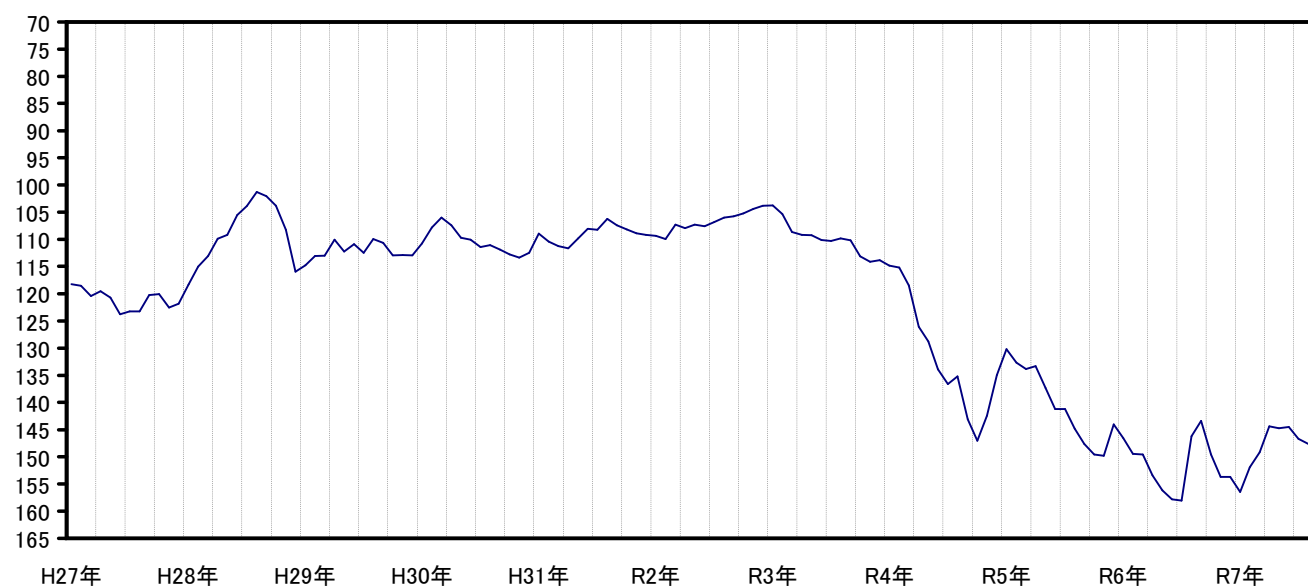
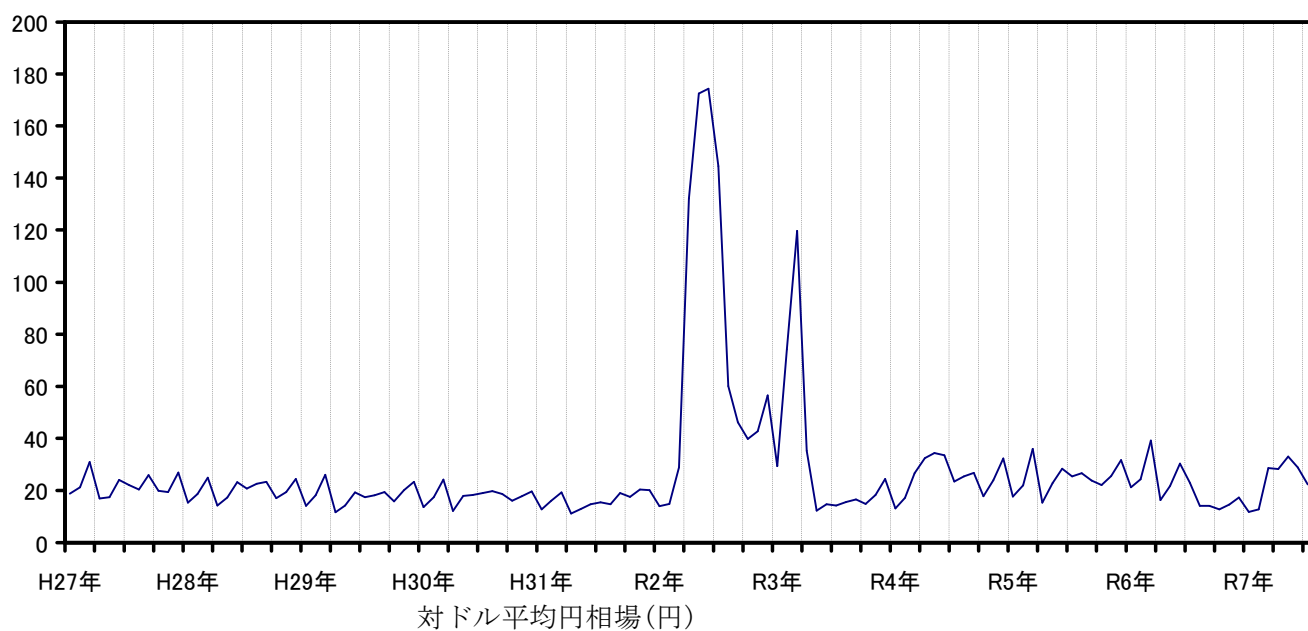
	R 6 年12月	R 7 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
倒産件数（件）	17	19	18	26	14	17	23	20
前年同月比（%）	▲ 10.5	26.6	100.0	44.4	▲ 36.4	▲ 22.7	76.9	▲ 23.1
うち不況型倒産件数(件)	15	15	17	23	13	14	18	18
負債総額（百万円）	1,530	2,011	2,450	4,227	1,595	1,653	2,896	3,548
前年同月比（%）	▲ 25.8	64.9	147.4	▲ 8.8	▲ 32.4	▲ 84.1	116.1	▲ 58.0

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

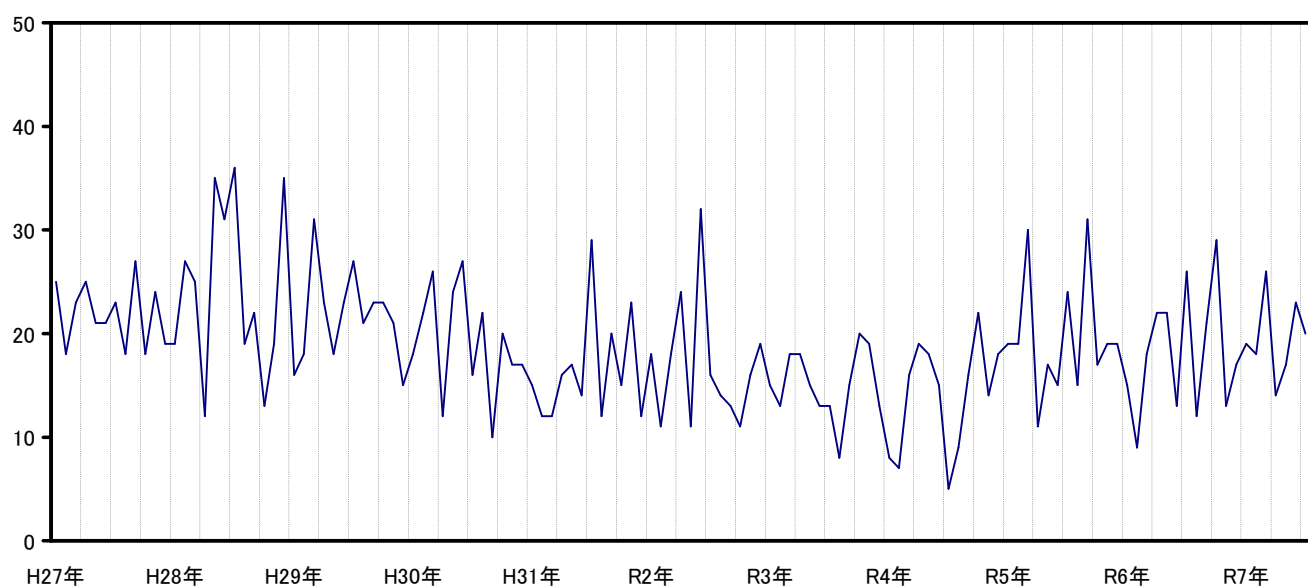
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和7年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	6月の国内二輪車生産台数は、58,561台（前年同月比9.2%減）で、9か月ぶりに前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、12,763台（同87.4%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,828台（同31.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,177台（同13.6%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、37,793台（同53.0%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。 出荷台数は、国内向けは、31,029台（同2.1%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、39,911台（同1.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	6月の自動車国内生産台数は、726,072台（前年同月比 5.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は369,707台（同 1.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。 国内生産は、乗用車が2か月ぶり、トラックが6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	7月の冷蔵庫の国内出荷額は375億円（前年同月比18.4%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。国内出荷台数は371千台（同0.9%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。 7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,285千台（同1.6%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は97千台（同9.2%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。 7月の携帯電話の国内出荷台数は、187千台（同62.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、152千台（同 64.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 81.1%であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	7月の工作機械の受注総額は、1,283億5,700万円（前年同月比3.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は929億1,100万円（同 5.3%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが475億4,500万円（同8.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内需は354億4,600万円（同0.7%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会

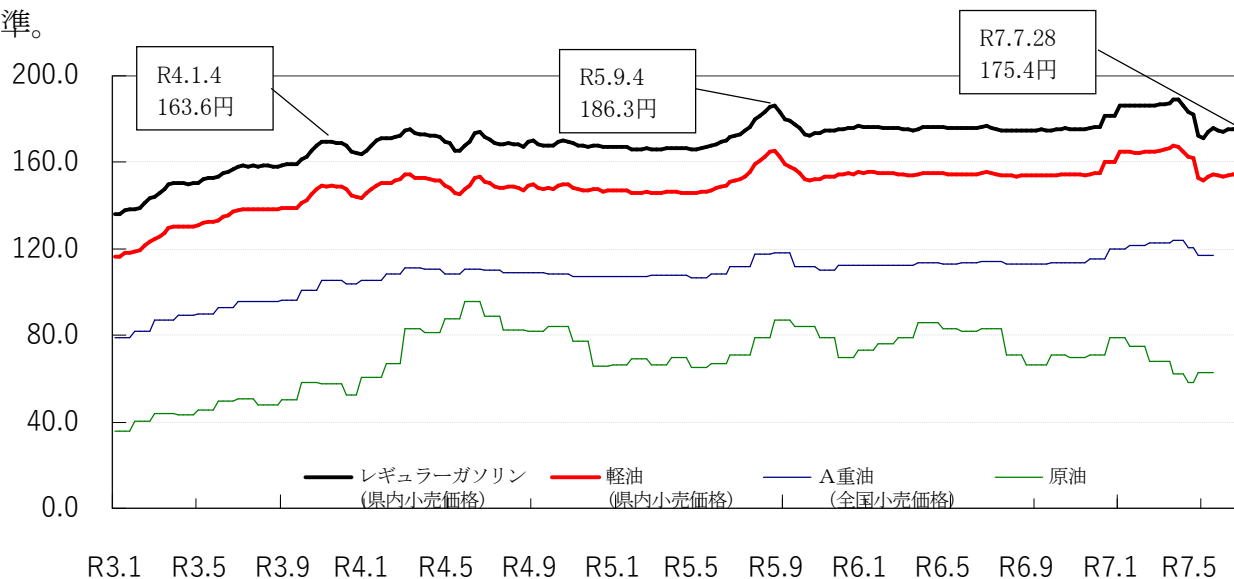
業 種	産 業 動 向
楽 器	7月の県内楽器メーカーの販売金額は、49億474万円（前年同月比 16.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが28億1,959万円（同 26.0%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。国内向けが20億8,515万円（同0.3%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。 ピアノ生産台数は2,183台（同15.0%減）で、25か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,206台（同 16.6%減）、グランドピアノが977台（同13.0%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,335台（同 25.8%減）で、25か月連続で前年実績を下回り、国内向けが793台（同 15.7%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	7月の紙・板紙の国内出荷高は、1,690千トン（前年同月比 2.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は729千トン（同 5.4%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。板紙は962千トン（同0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、355千トン（同 7.6%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千トン（2.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	7月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が999千箱（前年同月比4.6%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）が763千箱（同4.5%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は520千箱（同2.8%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。 農畜産缶（国内向け）は236千箱（同4.7%減）で4か月ぶりに前年実績を下回った。 飲料缶類（国内向け）は、7,109千箱（同6.4%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県缶詰協会
織 維	7月の広幅織物の県内生産は、589千㎡（前年同月比 10.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、558千㎡（同 8.1%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、30千㎡（同41.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、16千㎡（同 11.8%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	7月の全国百貨店での家具販売額は、41億7253万円（前年同月比5.8%減）と4か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、579億8,117万円（同9.2%減）と2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、39,801百万円（既存店前年同月比1.7%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品、その他の商品及び食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。 西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、昨年度好調だった雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが不調だった。また、お中元の需要減少により食料品の売上げが減少した。 中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、備蓄米販売の影響により、売上げが好調だった。青果、精肉及び弁当・惣菜についても売上げが好調だった。 東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げが同程度だった。映画館等サービス施設の売上げは好調だった一方で、衣料品の売上げが不調だった。 ＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和7年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比1.5%増となった。 主な要因は、夏季イベントの入込が増加したこと等によるものである。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約63万台となり、前年同月比0.9%増となった。 ＜資料＞静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー176円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数（台）	29,175	20,007	22,378	24,615	25,562	22,957	22,521	22,185	23,511
前年同月比（%）	0.8	▲ 19.5	▲ 1.6	0.0	2.4	▲ 9.2	4.0	0.5	2.1
KD輸出額（百万円）	672	1,763	2,311	2,376	2,342	2,276	1,962	1,889	1,404
前年同月比（%）	▲ 53.4	3.4	100.4	72.6	102.1	106.4	199.3	163.8	48.3

<楽 器>

	R 6年11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額（百万円）	3,091	2,851	2,724	2,749	2,895	3,736	3,338	3,624	3,822
前年同月比（%）	▲ 11.9	▲ 23.3	▲ 6.5	▲ 22.5	▲ 19.0	7.7	▲ 4.7	8.5	5.6

<缶 詰>

	R 6年11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高（千ケース）	1,031	968	915	876	895	965	924	1,014	999
前年同月比（%）	0.8	4.0	7.1	▲ 3.7	1.7	3.5	▲ 0.1	3.5	▲ 4.6
うち水産缶詰（%）	4.5	6.8	12.2	▲ 6.0	5.4	2.7	▲ 0.5	3.7	▲ 4.5
農畜産缶詰（%）	▲ 8.2	▲ 2.8	▲ 6.1	3.0	▲ 8.6	5.7	1.2	2.9	▲ 4.7
飲料缶生産高（千ケース）	6,839	5,863	4,736	5,744	6,776	6,517	6,688	6,643	7,109
前年同月比（%）	▲ 2.7	▲ 7.8	▲ 10.5	▲ 6.3	▲ 6.3	▲ 3.4	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 6.4

<織 維>

	R 6年11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物（千㎡）	975	895	881	840	860	771	621	647	559
前年同月比（%）	▲ 7.0	▲ 10.4	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 7.3	▲ 14.8	▲ 17.2	▲ 9.8	▲ 10.7
小幅織物（千㎡）	17	20	15	15	16	17	16	16	16
前年同月比（%）	▲ 6.8	6.6	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 11.0	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 10.3	▲ 11.8

<観 光>

	R 6年11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
延べ宿泊者数 （千人泊）	2,033	2,014	1,636	1,638	2,019	1,724	1,846	1,448	1,893
前年同月比（%）	7.1	8.3	0.6	▲ 6.3	▲ 3.2	▲ 3.9	2.0	▲ 6.4	▲ 7.9
観光施設（10施設）入込 （千人）	401	322	308	298	460	525	512	309	301
前年同月比（%）	▲ 12.5	▲ 3.6	25.6	28.5	27.5	▲ 17.3	▲ 34.6	5.4	1.5
有料道路（4路線）通行 量 （千台）	628	630	566	546	658	582	597	561	632
前年同月比（%）	1.1	2.7	0.5	▲ 5.0	1.9	▲ 11.9	▲ 14.4	▲ 3.8	0.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和7年9月号 通巻593号

発 行 静岡県経済産業部
令和7年9月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>